

にらさき

第4回定例会（12月）	P2
第4回定例会議決結果	P4
委員会活動報告	P5
ここが聞きたい（一般質問）	P6

平成29年葦崎市消防団出初式が挙行されました



平成29年1月8日 葦崎市営総合運動場にて



ポンプ車操法



小型ポンプ操法

出初式当日は、早朝から厳しい冷え込みとなりましたが、会場では指揮者の号令のもと、消防団員の整然とした行進やポンプ操法などの日頃の訓練の成果が披露されました。

さて、消防団の活動範囲は多岐にわたっています。火災の鎮圧、警戒、救助、地震や風水害等の災害の予防、警戒、防除、及び被害の軽減の活動、並びに地域住民等に対する協力、支援などが挙げられますが、安全に、迅速かつ的確に活動していくためには、団長の指揮を受け、規律を守り、強い団結力が発揮されなければなりません。今後も団員各位におかれては、知識を深め、更に技術の習得に努めていただきたいと思います。

このような消防団の活動には、団員のご家族や地域の皆様、勤務先の事業所のご理解とご協力が欠かせません。今後も「葦崎市消防団」の活動にご支援を賜りますようお願いいたします。

第4回定例会(12月)

平成28年第4回定例会は、12月1日から19日までの19日間の会期で開催しました。

今議会では、平成28年度一般会計補正予算（2億5,435万6千円の増額補正）、介護保険特別会計（6,160万円の減額補正）及び水道事業会計（312万3千円の増額補正）、並びに市条例の制定、公の施設の指定管理者の指定、請願について、所管の委員会で審査しました。

19日の最終日には、先ず、追加議案として提出された工事請負契約の締結及び行政委員の選任について、審議、採決を行いました。続いて、財務、総務教育、市民生活、産業建設各常任委員会に付託された案件について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告され、それぞれの案件について審議し、採決しました。

なお、審議した条例等及び採決の結果は、4頁の「平成28年第4回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

【一般会計補正予算】

平成28年度一般会計補正予算（第3号）は、財務常任委員会で審査し、本会議において全員一致で可決しました。

補正前の予算額 141億4,575万1千円
《補正予算額》 2億5,435万6千円
補正後の予算額 144億10万7千円

■主な歳出

- 定住対策促進事業費 548万7千円
 - ・空き家バンク登録物件リフォーム補助金の増加見込みによる事業費の増額
- 再編保育園・藤井公民館整備事業費 2,620万円
 - ・敷地内の水路整備工事費、用地購入経費等
- 市単独道路整備事業費 3,023万6千円
 - ・山梨県が施工する古川（龍岡町地内）の河川整備にあわせ、左岸管理道路を市道として整備する負担金
- 消防施設維持管理費 21万5千円
 - ・消防団に配備しているデジタル簡易無線の通信範囲拡大のためのアンテナ購入経費
- 地区公民館管理運営費 735万2千円
 - ・甘利小学校の改築工事に伴い、学校で使用していたエアコンを地区公民館に設置するための経費
- 総合運動場管理運営費 3,558万4千円
 - ・市営総合運動場全天候型テニスコートが経年劣化で1面が使用できなくなったため、全面を人工芝テニスコートに改修する経費
- 保健福祉センター管理運営費 127万4千円
 - ・電話設備更新、ひかり電話導入経費

空き家バンク



【お知らせ】

保健福祉センター（本町3丁目地内）への電話でのお問い合わせについては、現在、直通電話（23-4310）となっていますが、更新工事等終了後は、市役所代表電話番号（22-1111）に電話をいただいた場合でも、保健福祉センターに転送できるようになります。

なお、現在は平成29年4月からの使用開始に向け設備等工事中です。

※保健福祉センター内では保健課と介護保険課が業務を行っていますが、更新工事等終了後もこれまでもと同様に、直通電話もご利用できます。

◇ 保健課：23-4310 ◇ 介護保険課：23-4313

【条例の一部改正等】

■下水道使用料条例の一部を改正する条例（議案第79号）

下水道使用料は、平成8年に供用開始されて以来、事業を広く普及することなどを目的に料金の見直しは行わずにきましたが、事業に係る会計の健全運営、受益者負担の適正化を図り、安定的なサービス提供体制を構築していくために、改正するものです。

なお、料金の改正については、次のとおりです。

種類	使用料金（1月につき）			
	基本料金	超過料金（従量1㎡につき）		
	10㎡まで	10㎡を超え 30㎡まで	30㎡を超え 50㎡まで	50㎡を 超えるもの
一 般 用	756円➡ <u>945円</u>	91円80銭➡ <u>114円</u>	108円➡ <u>135円</u>	124円20銭➡ <u>155円</u>
公衆浴場用	1,080円➡ <u>1,350円</u>	108円➡ <u>135円</u>		
臨 時 用	1㎡につき108円➡1㎡につき <u>135円</u>			

- ・施行期日：平成29年4月1日

なお、施行の日前から継続して公共下水道を使用されている方で、2か月に1回の検針日が施行日をまたぐ場合（平成29年4月30日まで）は、下水道使用料は、改正前の使用料金になります。

【公の施設の指定管理者の指定には、地方自治法の規定により議会の議決を経る必要があります。】

■公の施設の指定管理者の指定について（議案第80号）

- ・管理を行わせる施設の名称：葦崎市定住促進住宅
 - ◇サンコーポラス祖母石住宅
 - ◇サンコーポラス栄住宅
 - ◇サンコーポラス藤井住宅
 - ◇サンコーポラス竜岡住宅
- ・指定管理者となる団体：甲府ビルサービス 株式会社（甲府市池田1丁目5番9号）
- ・指定期間：平成29年4月1日から平成33年3月31日まで

■公の施設の指定管理者の指定について（議案第81号）

- ・管理を行わせる施設の名称：葦崎市文化ホール
- ・指定管理者となる団体：株式会社 ケイミックス（東京都港区虎ノ門2丁目2番5号）
- ・指定期間：平成29年4月1日から平成34年3月31日まで

【契約】

■甘利小学校既存校舎大規模改修建築主体工事請負契約の締結について（議案第83号）

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条（予定価格1億5千万円以上の工事又は製造の請負）の規定により、審議の上、可決しました。

- 1 工事名：甘利小学校既存校舎大規模改修建築主体工事
- 2 工事場所：葦崎市大草町上條東割821番地1
- 3 契約金額：金421,200,000円
- 4 契約の相手方 住所：甲府市飯田4丁目10番27号 氏名：長田組土木 株式会社
- 5 契約の方法：一般競争入札

【人事】

■固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員 嶋津榮男氏の任期が平成28年12月24日満了となるため、その後任者について市長から議会の同意を求める提案がされ、次の方の選任について同意しました。

島津 光一氏（穴山町）

■公平委員会委員の選任について

公平委員会委員 横森岑子氏の任期が平成28年12月24日満了となるため、その後任者について市長から議会の同意を求める提案がされ、次の方の選任について同意しました。

大柴 恵子氏（穂坂町）

【請願】

☆介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める請願（請願第28-6号）

□提出者：進歩と革新をめざす荏崎の会

平成28年 第4回定例会議決結果一覧表

■賛否のあった議案

○賛成 ●反対（西野賢一議長を除く）

議案番号	件 名	金井 洋介	木内 吉英	小沢 栄一	内藤 正之	渡辺 吉基	浅川 裕康	守屋 久	宮川 文憲	高添 秀明	清水 康雄	山本 雄次	田原 一孝	小林 伸吉	興石 賢一	森本由美子	一木 長博	小林恵理子	結果
議案第75号	介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第76号	介護予防・日常生活支援総合事業における第1号訪問事業及び第1号通所事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第79号	下水道使用料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第81号	公の施設の指定管理者の指定について	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	可決

■全会一致の議案

議案番号	件 名	結果
議案第72号	平成28年度一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第73号	平成28年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第74号	平成28年度水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第77号	職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例	可決
議案第78号	ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第80号	公の施設の指定管理者の指定について	可決
議案第82号	職員給与条例等の一部を改正する条例	可決
議案第83号	甘利小学校既存校舎大規模改修建築主体工事請負契約の締結について	可決
議案第84号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第85号	公平委員会委員の選任について	同意

委員会活動報告

各議案番号の件名については、4頁「平成28年 第4回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

総務教育常任委員会

■平成28年12月15日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第77号、第81号及び第82号
- ・議案第77号及び第82号は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。
- ・議案第81号は、施設の運営形態や市の費用負担状況の見込み等について、意見を交わしました。採決の結果、賛成多数（委員長を除き、賛成4、反対1）で可決すべきものとすることに決しました。
- 請願第28-3号…被災者生活再建支援法の改正を求める請願（継続審査案件）
- ・右の請願について、国の支援制度の動向などを引き続き調査、研究していくことが必要との意見が出され、採決の結果、継続審査案件とすることに決しました。

市民生活常任委員会

■平成28年12月15日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第75号、第76号及び第78号並びに請願第28-16号
- ・議案第75号及び第76号は、採決の結果、賛成多数（委員長を除き、賛成4、反対1）で可決すべきものとすることに決しました。
- ・議案第78号は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。
- ・請願第28-16号…介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める請願（新規案件）
- 右の請願について請願提出者から説明を受け、請願内容に関わり介護保険料の今後の負担割合のあり方を踏まえ、社会保障費が抱える課

題などについて意見を交わしました。今後も国の進め方を注視し、協議していくことが必要であるとの意見が多くあり、採決の結果、継続審査案件とすることに決しました。

・請願第28-5号…所得税法第56条廃止の意見書の提出を求める請願書（継続審査案件）

国で所得税法第56条の議論が始まっている現状で、同法の趣旨や税の公平性の保持について研究していくことが必要などの意見が多数出され、採決の結果、継続審査案件とすることに決しました。

産業建設常任委員会

■平成28年12月15日 委員会開催

〔主な審査事項〕

- 議案第79号及び第80号
- ・議案第79号は、このたびの使用料の見直しに至った経緯や料金の算定、審議会での審議状況などについて説明を受けた後、委員から質疑を行いました。委員からは、「市民の負担感は大きい」「受益者負担の原則でやむを得ない」など意見が出され、採決の結果、賛成多数（委員長を除き、賛成4、反対1）で可決すべきものとすることに決しました。
- ・議案第80号は、全員一致で可決すべきものとすることに決しました。

■平成29年1月18日 現地視察調査

・同日、①大規模太陽光発電施設建設計画地（穂坂町地内）、②株式会社「採園」（穂坂町地内）、③雇用促進住宅サンコーポラス竜岡（龍岡町地内）を視察しました。視察場所の1つであった「採園」はハウス内でマンゴーを栽培しており、栽培ハウス内で事業者から環境に配慮した栽培手法への取り組み、

また販路の確保、ブランド化などの事業計画について説明を受けました。新しい果樹特産品として安定した供給、産地化が期待されます。



マンゴー栽培視察

保育園再編整備に関する調査特別委員会

■活動報告

□平成28年11月30日、本調査特別委員会の第2次提言を内藤市長に提出しました。

当日は、西野議長、田原副議長、一木委員長が出席し、「民営化の計画を推進するにあたり、2園同時ではなく、先ず1園を対象とし、実績を充分検証したうえで、その結果に基づいていくこと」、「市営総合運動場の一部等において活用されていない用地があり、保育園の建設用地として十分な面積であるので、今後の保育園再編整備に活用することを検討、調査していただきたい」ことを提言しました。



第2次提言提出

一般質問

にらさきのまちづくり ここが聞きたい 10人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。
詳細な内容は、
「[葦崎市ホームページ](#)→市議会→会議録検索」で
ご覧いただけます。録画中継も配信しています。

研修報告

行政視察受入

■山形県寒河江市議会

新政クラブ（1月16日）

寒河江市議会の会派の1つである「新政クラブ」の6名の議員が、本市が行っている「にらさき愛育成・Come back 支援事業」について、行政視察研修のため来葦されました。

当日は、西野議長が歓迎を申し上げ、本市の所管担当及び実務に従事されているNPO法人河原部社、並びに地域おこし協力隊からも出席をいただき、事業の企画に至った経緯、また開始に向けての準備や事業への取り組み状況、課題としていることなどについて説明後、質疑応答及び意見交換を行いました。

研修後に、新政クラブ議員から地域の子どもたちを主役とする、多様な取り組みを実践している河原部社や地域おこし協力隊の運営方針に称賛の言葉が贈られました。



ミアキス内での研修

行政視察

■議会運営委員会行政視察研修

2月6日、7日の2日間、神奈川県
葉山町議会及び逗子市議会を視察研修してきました。葉山町議会では、議会基本条例策定後の議会改革への取り組みについて説明を受けた後、本市の状況を紹介しながら情報を交換し、本市議会で検討している改革事案、手法などに関わり、有意義な研修となりました。また逗子市議会では、タブレット端末導入によるICT化の取り組みなどについて研修を受けました。タブレットの導入でペーパーレス化を検討している自治体も多くなっており、本市議会でも、費用対効果や運用実態などの調査研究を行っていく考えです。



逗子市役所での研修

研修会

■山梨県市議会議長会議員合同研修会（後期）・山梨県市町村自治講演会

2月2日、午前中はアピオ甲府で開催された合同研修会に参加し、明治大学名誉教授 中邨章氏の講演「地方議会人の挑戦 議会改革の成果と課題」を受講し、午後は山梨県自治会館に移動し、嘉悦大学教授 高橋洋一氏の講演「最近の政治経済情勢について」を受講しました。

住民が地方議会に期待することや首長と議会の関わり方の変容、また日本の財政状況、諸外国との政治外交などについて話がされ、見聞を広める有意義な講演を受講できました。

〔会派の変更のお知らせ〕

平成28年11月に会派の構成に変更があり、現在は次のとおりです。

□ 葦真クラブ	☆宮川 文憲 内藤 正之	田原 一孝	高添 秀明	浅川 裕康
□ 協伸クラブ	☆興石 賢一	山本 雄次	木内 吉英	
□ 葦政クラブ	☆小沢 栄一	西野 賢一	金井 洋介	
□ 公明党	☆小林 伸吉	森本由美子		
□ 日本共産党	☆小林恵理子	渡辺 吉基		
□ 親和クラブ	☆清水 康雄			
□ 経世会	☆守屋 久			
◇ 無会派	一木 長博			

（☆印は、会派会長）

（注）議会内で政策を中心とした理念を共有し、活動を共にする議員の集まりを会派と称しています。



宮川 文憲 議員
[荏真クラブ]

市政方針について

質問 平成29年度の成長戦略で、重点施策は何に基軸をおいて市政を前進させ、活力ある地域づくりを目指していくのか。

答 市長 明年度の重点施策は、働く世代とその子どもたちが輝くまちづくりを基本に、子育て、教育、健康、雇用などを中心に活力あるまちづくりに努めていきます。

荏崎市立保育園の民営化について

質問 平成24年9月に策定した「荏崎市立保育園再編計画」に基づき、平成30年4月、民間保育園の開園を予定し、数次にわたる説明会を開催してきたが、荏崎東、荏崎西両保育園を同時に民営化するのか、それとも、まず1園の民営化を進めるのか。

答 市長 保護者や地域の皆様のご理解をいただくため、説明会を重ね、徐々に理解は深まっているものと考えています。子どもたちや保護者の皆様の不安を少しでも減らすため、まず1園を民営化し、その後の状況を検証した上で、残る1園の民営化を進めることとしました。

災害時の要配慮者対策について

質問 平成25年6月の災害基本法の一部改正による高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦等の災害時の要配慮者対策の取り組みについて。

答 市長 本年4月から11月までの毎月1回、市内福祉施設と市関係部署の担当者などが参加し、共同研究を行ってきました。災害発生時での要配慮者などの円滑な受け入れには、施設側と周辺地域との連携が必要なので、より良い関係づくりが図られるよう支援していきます。

質問 工業団地拡張に向けての進捗状況と、計画区域内に「上ノ山地区・団体営土地改良総合整備事業」の受益地が含まれているが、畑かん組合との協議について。

答 市長 現在コンサルト会社による測量調査を進めているほか、地権者と個別に聴き取りを実施しており、拡張規模については、4ヘクタールを超えての検討を進めています。また計画区域内の畑かん施設には、本管の移設、受益地の代替地への付け替え等を基本に、組合及び地権者と協議を行っていきます。

市営総合運動場体育館の管理と整備について

質問 市営総合運動場体育館の改修は以前から検討されてきているが、平成27年2月と平成28年2月の荏崎市スポーツ推進審議会からの答申を受けての取り組みについて。

答 教育長 財政計画及び防災計画と整合性を図り、今後、「市内体育施設整備計画」により検討し、指定管理者制度の導入についても、併せて検討していきます。

平成29年度予算編成方針について

質問 執行部から示された平成29年度予算に対する基本的な考え方は、昨年度策定した「荏崎まち・ひと・しごと総合戦略」に重点を置き、社会保障関係や、まちづくりの諸課題に取り組み、限られた人材・施設・資金等を重点配分し、緊急性や効率性を考慮して事業採択を行うとしています。この方針は、限られた財源を有効に活用し、荏崎市の発展に寄与するものと思えます。しかし、夢を持つことも必要と思えます。10年後、20年後、あるいは50年後のために投資することも必要と思えます。



高添 秀明 議員
[荏真クラブ]

その他質問

- ◆公的医療保険制度の見直し（案）について
- ◆荏崎市文化ホール指定管理者について
- ◆体育施設整備について
- ◆おめでとう赤ちゃん出生祝い事業の拡充について
- ◆道路整備について
- ◆JR中央線新府駅の整備について

藩の財政は窮乏してしましました。これを見かねた長岡藩の支藩である三根山藩から米百俵が送られることとなり、長岡藩の藩士たちは大変喜びました。しかし、藩の大参事小林虎三郎は、贈られた米を藩士に分け与えず、売却し、その代金を学校の資金に注ぎ込みました。虎三郎は、「百俵の米も、食えばたちまちなくなるが、教育に充てれば明日の一万、百万俵となる」と論じ、自らの政策を押し切りました。荏崎市の財政も非常に厳しいこの時期ではありますが、若者や子どもたちには荏崎市の未来を託すうではありませんか。若者や子どもたちのために予算を重点的に配分すべきと思いますが、市長の見解を伺います。

答 市長 予算編成にあたり、「第6次長期総合計画」や「まち・ひと・しごと総合戦略」に盛り込まれる施策に重点を置き、必要性や費用対効果などの高い事業を優先的に採択することを基本方針として、現在、編成事務を進めているところです。働く世代とその子どもたちが輝くまちを目指し、明年度も再編保育園・藤井公民館整備事業や甘利小学校大規模改修事業などを継続して実施していきますが、他の事業を勘案しながら、効率的な予算配分に努める考えです。

質問 財政の厳しい現状で、財政担当課長として難しいこととは思いますが、米百俵の精神に気持ちを向け、果敢に挑戦していただきたいと思います。見解を伺います。

答 企画財政課長 政策的な予算編成の本格的作業はこれからですが、先ほど議員がおっしゃったとおり、その内容に応えられるような予算編成に向けて取り組んでいきたいと考えています。



興石 賢一 議員
〔協伸クラブ〕

峡北広域行政事務 組合ゴミ処理施設 について

質問 施設の使用期限が平成29年11月30日ということ、1年を切ってしまうています。使用期限の延長は、地元対策委員会から組合に対して、いくつかの条件が出され、その条件を認めなければ期限の延長はできないと思いますが、見解を求めます。

答弁市長 地域から要望されている事項について、地元龍岡町の皆様をはじめ構成市の市民の皆様にも理解していただける内容で、組合で取り組むことができる事業を可能な限り実施し、地域の振興を図っていきたいと考えています。

上水道未設置地区 について

質問 市内には、簡易水道地区以外に水道本管が

埋設されていない地区はどこにどのくらいあるか。また、今後下水道埋設時に水道管を先行投資的に埋設しておくことも一考だと思います。

併せて、住宅地開発や工場進出等による水道利用者に埋設費用の助成等も考えるべきだと思いますが、見解を伺います。

答弁市長 上水道などの利用は個人の選択によるものであり、水道事業は水道法及び市給水条例に基づき飲料水の提供を行っています。質問の上水道未設置地区については、井戸水利用者が点在しており、明確な地区単位での把握ができないのが現状です。また、水道管の先行投資については、下水道工事に既に埋設されている水道管の耐震化を目的としており、新たな敷設は考えていません。次に、住宅開発や工場新設等による埋設費用については、これまでと同様に加入者負担としていきます。

葦崎市文化ホール 指定管理者の選定 について

質問 最大の目的は、無駄な経費を省き、サービスを落とさずに、管理運営や地域文化振興を行うということだと思っています。それを鑑賞事業と地域文化事業に分け、それぞれ別の事業者に運営させる方法で経費の削減ができるのか疑問です。あえて別々にしないで、今までどおり武田の里文化振興協会に指定をして、協会を外すことなく、管理や運営などをしてもらうことを進めていくことも一考だと思っています。見解を求めます。

答弁市長 明年度以降の指定管理の方法については、武田の里文化振興協会から、今後の安定的存続について提案がなされ、協議を重ねた結果、文化ホールの管理運営などには関与しないことを双方で確認したところであります。これらの経緯を踏まえ、明年度以降の施設の管理運営及び芸術鑑賞事業の分野に限定した新たな指定管理者を公募し、選定したところであります。また、明年度からの市と協会の新たな業務契約内容については、現在協議中です。



山本 雄次 議員
〔協伸クラブ〕

峡北南部衛生セン ターについて

質問 昭和39年4月に1市、3町、1村で一部事務組合を設立、更に昭和40年には明野村も加わり名称も葦崎市外五町村衛生組合として、総工費約6千万円で昭和41年に完成し、同年4月からし尿の処理が開始されました。その後昭和49年には消化方式から現在の高速酸化方式に改修、更に全処理能力36㎥を72㎥へと改造と増設を繰り返してきましたが、老朽化が顕著で、近年は多額な修繕費を必要としている状況です。昨今話題となるのはエコパーク竜岡のごみ処理場ですが、人が生活していくのにはどちらも必要不可欠な施設であります。本年8月には産業建設常任委員会で施設を視察しましたが、臭気も気になりました。処理タンク槽は外壁にひび割れが見

られ、いつ不測の事態が起きてもおかしくない状態と思われます。早急な改築が必要と感じました。現況では施設の続きの北側進入道路に挟まれた三角地に余地があると思います。今後5年計画での新設改修時には、周囲に緑地帯を設け、継続してし尿等を衛生的かつ安定的に処理してほしいと思います。以下、順次質問します。

その他質問

- ◆葦崎東保育園・西保育園の民営化と整備について
- ◆鳥獣害対策について
- ◆指定文化財施設への順路整備の方策について

辺の環境整備については、設計の段階で緑化を図るなど、更に環境整備に努めていきます。

質問2 設計等はこの5年間で、いつ頃着手する計画か伺います。

答弁環境課長 現在、組合では計画に向けた業務委託を行っています。が、運営構成3市の枠組み、処理形式、再資源化への取り組みなどがあるので、今年度それに向けた業務の発注を行い、年度内におおよその方向性を定めることになっています。確定後に施設の詳細設計に着手することになると思います。年限等は多少流動的ですが、組合では全体計画として5年を目途に完成、供用開始を考えていると聞いています。

質問1 峡北南部衛生センターの改修計画と敷地周辺の環境整備について伺います。

答弁市長 広域行政事務組合が、し尿を共同処理している峡北南部衛生センターは、整備以来40年以上が経過し、早急に対応しなければならぬ状況です。このため本年度組合において施設更新に向け、処理方式などの基本計画の策定に取り組んでいます。また、敷地周

質問3 現在地で稼働している施設を使用しながら、隣接箇所に新たな用地を求め、新設することはいかが伺います。

答弁環境課長 周辺の土地所有者の協力をいただきながら、事業用地を延伸させるような形で確保を図っていく意向であると聞いています。



小沢 栄一 議員
【市政クラブ】

体育施設整備について

質問 葦崎中央公園周辺への体育施設の新築について。

答 教育長 体育施設整備の計画策定については、早期着手に向け、準備を進めています。

質問 既存の市営総合運動場施設、設備の改修等の計画について。

答 教育長 老朽化及び使用に伴う劣化が生じていますが、使用に支障がないよう、随時、修繕で対応しています。

葦崎市立病院について

質問 医師確保の展望について。

答 市長 今年度の常勤医師数は、山梨大学より整形外科医師1名が新たに赴任し、14名体制となつています。内科医師数は現在3名体制で診療を行っています。内科

常勤医師の確保は、外来及び入院診療をはじめ、救急医療体制を持続的に堅持していく上においても喫緊の最重要課題であると認識しています。

質問 多角的な医師確保策について。

答 市長 「公益社団法人 地域医療振興協会」が上野原市立病院の指定管理者として運営実績があることは、私も承知をしています。これまで市立病院は、平成5年度以来山梨大学医学部の関連病院として、医師派遣を受け良好な関係を築く中で、適正な医師派遣を受けて健全な経営を行い、市民に信頼されてきました。したがって、新たに他の方途による医師招聘については、先ずは現在まで医師派遣にご協力いただいている山梨大学のご理解を受けた上で行動する必要があると認識しており、私としても、これまでの市長経験と民間経営の経験を活かし、医師招致に努めていく考えです。

インフラの整備、更新の予算・財源確保について

質問 安定的な予算・財源の確保について。

答 市長 企業誘致による税収の確保、国、県補助金の活用や収納率の向上などに努めています。社会保険費関係予算の増加や子育て施策への重点的予算配分を考えると道水路等の維持管理コストの縮減を図りながら、地区要望に応えるべく、計画的なインフラの整備、更新に努めていきます。

認知症徘徊対応について

質問 GPSを使用した位置探索について。

答 市長 位置探索システム導入については、既に導入している他市の実情を踏まえる中で、有効性等を調査研究していきたいと考えています。

上ノ山・穂坂地区工業団地について

質問 周辺市道の整備について。

答 市長 市道（穂坂）97号線の延長整備については、本年度、地区説明会を実施する予定でしたが、地元より市道（葦崎）111号線の現道拡幅というご意見もある中で、再度、地区での意見集約をお願いしています。



金井 洋介 議員
【市政クラブ】

赤ワインの丘プロジェクトと観光について

質問 プロジェクトの実効性の調査、研究がどのように行われているのか。

答 市長 現在、専門的なコンサルへ委託し、基本構想を踏まえつつ、地元農家や地域の飲食店などの訪問や専門家との協議など、多くの意見を聞く中で、実現のための可能性の調査、研究を進めています。

質問 また、インフラの整備については、現段階では立地する企業を対象に行っているところですか。

答 市長 行政の立場から考える、本プロジェクトの一番の目的は、

答 企画財政課長 穂坂ワインのブランディングを最優先的に、その実現性、その手段等を今

後検証していきます。また、将来的には、市内外及び全国または海外からの交流人口の増加による市内全域を意識した観光施策へとつなげていきます。

質問 観光協会のあり方、活用についてどのようにお考えか。

答 商工観光課長 会員同士の交流会や意見交換の場の提供等についても理事会等のご意見を拝聴しながら、今後検討していきたいと考えています。

太陽光発電について

質問 穂坂町柳平地区など、大規模な森林伐採及び傾斜地への設置計画に対しては、景観や環境の問題以外にも雨水、土砂崩れ等、災害の発生が懸念されることから、地域住民に対する十分な説明とともに、長期にわたる安心、安全な防災対策等が必要と考えるか。

答 市長 1ヘクタールを超える大規模森林伐採は、県の林地開発許可で災害、水害防止基準への適合を必須とされ、同許

可規模未満の案件についても、山地災害防止関連法令や県のガイドラインに基づいた指導が行われています。

また、本市においても設備や土木の構造などの防災視点、地元説明の実施に至るまで、さまざまな見地から事業者指導を行っています。

下水道使用料の改定について

質問 下水道使用料を改定する議案の提出理由は、

答 市長 平成8年の供用開始より、事業の普及振興を目的に料金を見直しを行わず、不足分を一般会計からの繰り入れにより運営されてきました。

健全な運営と受益者負担の適正化を図るため提案したところです。

質問 一般会計から下水道事業特別会計への維持管理運営費に繰り入れている金額は、

答 上下水道課長 約2億2千万円です。

質問 下水道本来の目的から、接続率100%を目指していただきたいが、



小林 伸吉 議員
[公明党]

その他質問

- ◆高齢者の交通事故対策について
- ◆若者の政策形成過程への参画について

市民バスの運用について

質問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の中の一つに、市民バスの路線や車両を検討し、公共交通サービスの充実を図るとありますが、市民からは「運転が危なくなり、免許は自主返納したいが、病院に行く公共交通機関がないので返納できない」「JRや市民・路線バスなどはあっても、JRの駅や市民・路線バスの停留所まで出ていくことができない」などの声があります。

市民バスの路線を検討する上で、広く市民からの要望、意見を聞き、地域の実情を踏まえ、市民が一樣に利用しやすい市民の足、公共交通機関の運用を考える時期に来ていると思います。市の考えを伺います。

答 市長 これまでもデマンドバスや高齢者タク

いじめ問題について

シーなど、公共交通の充実に努めてきましたが、昨今の高齢者の自動車の運転に対する様々な問題から、増々公共交通の必要性が求められています。明年度において、路線のない地域も含めて、市内全域の運行方法や利用者料金について調査、研究を実施し、公共交通会議に諮る考えです。

質問 全国の小・中・高特別支援校が2015年に把握したいじめは22万4,540件で、前年度から3万6,468件増えて過去最高になったことが文部科学省の問題行動調査でわかりました。いじめは被害者の心に大きな傷を残します。命に関わる重大な、取り返しのつかない事態を引き起こしてしまうこともあり、この点の認識を今一度、児童・生徒や保護者、

教師との間で共有する必要があります。いじめ認知件数が最多となった2015年度の調査結果より、本市のいじめの認知件数、その内容、また取り組みについて伺います。

答 教育長 昨年度のいじめの件数は、小学校80件、中学校6件であり、全体としては前年より大きく減少しています。本市の取り組みは、平成26年度に「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ問題対策連絡協議会を開催する中で、学校、PTA、養成機関等と連携し、適時適切な助言、指導に努めています。また、学校においては、いじめ防止対策委員会の定期開催やアンケートの実施による早期発見の取り組み、学級内での人間関係等を把握するhyperi-QU検査（より良い学校生活と友達づくりのためのアンケート）の結果を活用した学級指導などにより、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に取り組んでいます。更に、児童・生徒の自らの取り組みとして、いじめ撲滅集会などを通して、より良い人間関係を築く活動をしています。



小林恵理子 議員
[日本共産党]

その他質問

- ◆葦崎市立保育園民営化計画について
- ◆葦崎市文化ホール指定管理について
- ◆65歳以上の障がい者の生活支援について

市長の政治姿勢について

質問 内藤市政が誕生して2年です。「市民目線の活力あるまちづくりを基本テーマとし、チームワーク、ネットワーク、フットワークで心のこもった市政運営を目指す」「チーム葦崎で取り組む市政」「常に市民の福祉向上を念頭に市政にあたる」という基本姿勢が実践されてきたのでしょうか。

「特別職の職員で非常勤のものの報酬」の改定で、全体で1,712万円の報酬減。うち地区役員等の報酬は、地区運営費の見直しなどで約700万円の減額です。放課後子ども教室の有料化、住宅太陽光発電等設置補助の打ち切り、住宅リフォーム助成制度の廃止。来年度は「受益者負担の適正化に基づく使用料等の見直し」で、施設利用料の引き上

げによる市民負担増は1,266万円です。下水道使用料は25%の引き上げも提案されています。引き下げ要望が多い国民健康保険税は、1億9千万円以上の黒字でも、基金が4億8千万円以上積み立てられていても、病院会計には繰り入れても、国保税の引き下げに応じる姿勢はありません。民営化の推進では、小中学校給食の調理が完全民間委託に、文化ホールの指定管理者を東京の株式会社にする議案は、昨年、議会で否決となり、公立保育園の民営化でも短期間で葦崎東・西保育園の2園を民間に移管する方針に、様々な意見が出され、移管時期は1年先延ばしされました。「急激な見直しで、市民生活を本当に考えているのか疑問」「生活がぎりぎり、負担をこれ以上増やしてほしくない」「生活の実態を知ってほ

しい」「むしろ負担を減らしてほしい」などの声が寄せられています。補助金制度や市民負担の見直し、民間活力の活用などの方針は歴代市政と同様ですが、進め方が問題です。集中的に一拳にまた拙速に推進することに対して「『チーム葦崎』と言っても市民が置き去りになっていないか」などの意見も耳にします。市民への影響を敏感に捉える、生活苦にある人々に思いをはせる、市民の感情や受け止めを考え、十分配慮した市政運営が大事だと考えます。市長の見解を求めます。

答 市長 市民目線の活力あるまちづくりを基本に、常に市民福祉の向上を念頭に市政にあたってきた私の政治姿勢が変わりはありませんが、右肩上がりの経済が期待できない厳しい財政状況の中、人口減少や高齢化率の上昇を背景に、将来にわたる健全な行政運営を堅持していくためには、中・長期的な視点に基づいた適正な負担や様々な見直しが必要であると考えるています。



渡辺 吉基 議員
[日本共産党]

その他質問

- ◆高校3年生までの医療費助成の拡大について
- ◆災害時要援護者支援制度について

葦崎市介護予防・日常生活支援総合事業について

質問 大幅な給付抑制が目的である「医療介護総合確保推進法」が、2014年6月の国会で強行成立されました。これに基づき介護保険認定の要支援1、2の訪問介護（ホームヘルプサービス）と通所介護（デイサービス）は、保険給付から外され市町村の新総合事業へ移行します。それらは明年4月から実施されますが、訪問介護、通所介護等のサービスは低下しないのかお聞きします。

答 市長 新しい総合事業は、現行の訪問介護、通所介護と変わらないサービスに加え、利用しやすい簡易なサービスを提供するものであり、要支援1、2の方に対する介護サービスが低下しないように準備を進めているところです。

り介護申請の手続きをして審査を経て、認定を受けてサービスの利用とすることになります。

スクールソーシャルワーカーの配置について

質問 現在、要支援1、2の方で訪問介護及び通所介護を利用されている方は、それぞれ何人いるでしょうか。

答 介護保険課長 本年10月末の状況で、訪問介護を利用している方が23名、通所介護を利用している方が43名で、合計66名です。

質問 これらの介護サービスをj利用している方で、現行相当のサービスを受けられるのは何人ですか。

答 介護保険課長 3割くらいの方が、現在と同じ内容の相当サービスを受けられると想定しています。

質問 新規の介護サービス利用について、窓口での対応は変わるのですか。

答 介護保険課長 窓口でチェックリストを用いその方の状況を把握します。明らかに介護認定が必要な場合、あるいは予防給付や介護給付を希望している場合は従前どお

質問 文部科学省は、2008年度からスクールソーシャルワーカー活用事業を始めました。スクールソーシャルワーカーは、小学校や中学校の児童・生徒のいじめや不登校などといった問題行動だけでなく、発達障がい、虐待、家庭の貧困などに対して、関係機関とのネットワークを活用するなどして支援します。県内でも昨年度から富士河口湖町で、今年度から甲府市でスクールソーシャルワーカーを配置しました。

答 教育長 中北教育事務所に4人が配置され、今後中北教育事務所のスクールソーシャルワーカーを積極的に活用していきたいと考えていますので、本市独自の配置については考えていません。



清水 康雄 議員
[親和クラブ]

その他質問

- ◆御坊沢川の土砂浚渫（しゅんせつ）について
- ◆下水道計画について

県道甘利山公園線待避所設置の進捗状況について

質問 本市の観光名所の一つであります甘利山のレンゲツツジは、毎年6月の開花時期になると、市内外及び県外から多くの観光客が訪れています。満開時の休日には車両の通行量が増え、交通ラッシュになります。道路幅員が狭いため、車のすれ違いがスムーズにできない状況です。

答 このようことから、椹池（さわりいけ）からグリーンロッジ駐車場までの間に、待避所を設置する計画で、本年度に一部、工事に着手するとのことですが、現在の進捗状況について伺います。

答 市長 県では、現在も、保安林解除の手続きを行っており、解除後の冬季閉鎖期間に、一部、工事に着手することです。今後、引続き早

期完成に向けて要望をしていきます。

旭町山口地区農業用ため池の改修について

質問 この「ため池」は、本市の旭町山口地区の水田、約8ヘクタールの灌漑用水として、昭和6年に築造されたものです。取水源は甘利沢川であり、夏の渇水期になると安定した用水の水量が確保できないため、水田耕作者の勤労奉仕により、貯水量を4,500立方メートルとして設置されたものです。しかし、設置後約50年が経過した頃には、漏水が激しく必要水量の確保が困難となり、昭和58年度に国の補助を受け、全面遮水シートを設置しましたが、近年は水位の低下が激しく、調査の結果、一部シートに剥離箇所が確認されました。本「ため池」の下流域には、山口地区をはじめ、鋳物

師屋地区、北原地区、さらには大草町の若尾地区があり、「ため池」が決壊してしまえば非常に大きな被害をもたらすことが予測されますが、この対策について、市の考えを伺います。

答 市長 本「ため池」については、平成25年度に震災対策農業水利施設整備事業により耐震調査を実施したところ、耐震不足が確認されているので、県営事業での早期整備に向け要望しています。

通学路の安全対策について

質問 甘利小学校に通学する旭町の児童は、そのほとんどが交通量の非常に激しい、主要地方道葦崎・南アルプス・中央線、通称旭バイパスを横断して通学しなければなりません。押しボタン式信号機の設置を提案しましたが、その後の経緯について伺います。

答 教育長 旭バイパスへの信号機の設置については、本年7月、通学路安全推進会議に諮り、現地を確認したところです。今後は、保護者や地域の総意として、要望をお願いしたいと考えています。

【トピック・ニュース】



1月8日、「平成29年韮崎市成人式」が東京エレクトロン韮崎文化ホールで挙行されました。新成人の新たな門出を祝い、市議会を代表して西野議長が祝辞を述べました。

さて、人口減少社会を迎えた今日、全国の自治体で積極的にまちづくりへの取り組みを進めていますが、韮崎市に住む私たちは力を合わせて、就学などで場所は違えても、若人たちが生まれ育ったまち、ふるさととして、心を通わせ続けられる魅力を更に見だし、情報を発信していく中で、皆さんから住んでみたい、住み続けたいと感じてもらえる韮崎のまちづくりに、引き続き力を注いでいきます。

新成人となられた皆さんと、いつの日か、お会いできる時が来ることを楽しみにしています。

2月13日、上ノ山・穂坂地区工業団地において関係者が多数参加し、株式会社テージーケーの工場新築工事に係る地鎮祭が挙行され、西野議長も玉串奉奠を行い、工事の無事安全を祈願しました。

本工業団地では、救心製薬株式会社山梨工場と山梨日日新聞社新聞印刷センターが創業しており、本市の更なる活力を創出する場としても大きな期待をしています。



編集後記

昨年12月、スポーツ庁が小学校5年生と中学校2年生を対象として実施した平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を公表しました。山梨県の公立中学校は、男女ともに実技8種目の体力合計点の平均値が過去最高を記録し、全国平均を上回っていました。一方、小学校は男女ともに全国平均を下回る結果となっていました。本市の小中学校においても、これらの結果を指標とし、運動能力の向上と運動習慣等、今後の指導に有効に活用しながら、児童生徒の体力の維持・

増進に一層努めていただきます。次世代を担う子どもたちの「やる気力」を培い、「体力」を増進していくことは、まちづくりを進めていく上での「人材の育成」に関わる大切なことなので、議会も市の施策や事業を注視していきます。
(田原 一孝)

市議会だより編集委員会
委員長 西野 賢一
副委員長 田原 一孝
委員 山本 雄次
清水 康雄
高添 秀明
宮川 文憲

2月23日	開会 諸報告 市長所信表明 財務常任委員会
3月 6日	代表質問・一般質問
7日	一般質問
8日	議案審議 常任委員会
9日	常任委員会
10日	財務常任委員会
15日	議案審議 委員会報告 閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※委員会の傍聴を希望する方は、開催日の2日前まで（休日を除く）に申込手続きが必要です。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

3月定例会日程〈予定〉